

平成21年11月1日

いしかわ農地・水・環境協議会

### ■古代米の収穫体験



弘法の里環境保全会は、珠洲市宝立町鵜飼・春日野の県営ほ場整備宝立第2地区の受益地を中心とした地域で活動を実施しています。

里山の農村景観との調和に配慮したビオトープづくりを行っており、護岸を石積みや木柵で整備することにより、水棲生物や水辺に集まる昆虫たちの生息地を確保しています。

今年度は、ビオトープや隣接した田んぼを利用して、古代米の栽培に挑戦しました。生育については、梅雨や夏の長雨などによる日照不足ではらはらしましたが、夏の終わりからは天候も安定し、実りの秋を無事迎えることが出来ました。

また、地域では昔のように子ども達が農作業を体験することも少なくなったことから、稲刈りとはざ干しを地区の小学生に体験してもらい、農業への理解を深めてもらおうと考え、収穫作業のイベントを実施しました。(写真) 子ども達は、初めての体験ながらも積極的に参加し、農作業の大変さや収穫の感動を味わっていました。



### ■地域の田園風景を守り伝えたい 中能登支部【グリーンフル鹿頭】



志賀町鹿頭(しおず)は志賀町北部の日本海に近い農村地域で、近くの海岸は「能登金剛」と呼ばれる景勝地となっており、豊かな自然に囲まれた田園風景が広がっています。

「グリーンフル鹿頭」は、地域の田園風景を後世に守り伝えるために、平成19年度に設立し、保全活動に取り組んできました。

3年目を迎えた現在は、遊休農地で景観形成やホタルの保全への取り組みなど、農家と地域住民が一体となった活動に力を入れています。

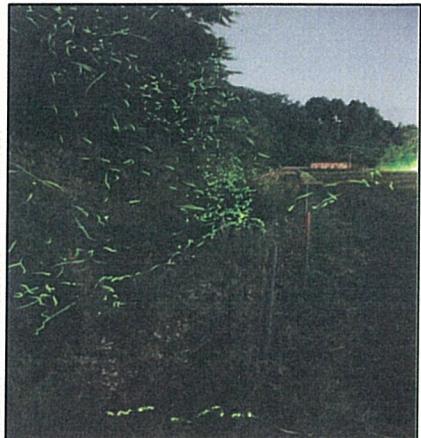
とりわけ婦人会、サークル穂(地区の担い手農家団体)が中心となって取り組んでいる景観活動では、遊休農地へ春にひまわり・コスモス、秋に菜花等の様々な種をまきました。(写真) また、郵便局やコミュニティセンター近くに設置した花壇では、道行く人たちに安らぎを提供する空間として好評となっています。

「グリーンフル鹿頭」では、今後とも地域のみなさんと活動の輪を広げて、鹿頭の田園風景を守っていきたいと考えています。

## ■ 「蛍の里 とだしの」をめざして

南加賀支部【能美市農地・水・環境保全組合（灯台笹町）】

「能美市農地・水・環境保全組合（灯台笹町）」では、「蛍の里とだしの」を目指して保全活動に取り組んでいます。地域の山側をながれる石積みの「やまんど用水」に沿って、「蛍の里」の看板・花壇やベンチを設置し、ゆっくり休憩して観賞できる広場として整備しました。また、ホタルの住みやすい環境を作るため、草刈りも程よく刈り残すコツもつかんできました。今年の活動はゴミ拾いを残すだけとなりましたが、ホタルを守るために町民が一丸となって活動に取り組む気持ちが芽生えていると思います。



今年の7月16日には、夕方のニュース番組「ビービーミツバチ」（テレビ金沢）で紹介され、ますます「蛍の里 とだしの」が町民の自慢と誇れるようになりました。

灯台笹町のホタルは、山際の水路に出るので、平地で見るよりも高い位置（およそ4m）まで飛びます。（写真）噂を聞きつけて金沢市以北から観賞に訪れた人もいました。ロマンティックな光景は夏限定ですが、今後たくさんの方々にホタルの魅力を知っていただけるよう町民一丸となってこの美しい景観を守っていきたいと思います。

## ■ 環境機能増進事業と連携した生き物調査について

県央支部【二ッ屋環境保全隊】

「二ッ屋環境保全隊」は農村環境向上活動として、今年度より始まった環境機能増進事業と連携し、地域住民や子ども会の協力の下、生き物調査を実施しました。（写真）

ほ場整備事業で過去に設置したビオトープや環境配慮型水路を中心に調査したところ、フナ、ドジョウ、タモロコ、オイカワ、ヨシノボリ、ウキゴリ、タニシ、カワニナ等たくさんの生物を発見しました。またビオトープ内にはアメリカザリガニが異常繁殖していることもわかりました。



今後も環境配慮施設を適切に管理していくため、当事業と連携し調査をして地域住民や子どもたちにも、興味を持ってもらえるような活動をしていきたいと思っています。

### 【事務局からのお知らせ】

先日ご案内いたしました農地・水・環境保全向上対策 推進大会が石川県地場産業センター 大ホールで11月18日(水)に行われます。

活動組織皆様の多数のご参加をお願い致します。

また、引き続き、各地域の活動紹介にご協力お願ひいたします。

〒920-0362 石川県金沢市古府1丁目197番地 石川県土地改良事業団体連合会内

いしかわ農地・水・環境協議会 事務局：中 正樹

TEL : FAX 076-249-8191 E-mail : [ishikawa@shigenhozen.jp](mailto:ishikawa@shigenhozen.jp)